



港南小学校 学校だより

11月

二十四節気・七十二候

<11月の二十四節気>

- ・11月7日 立冬
冬の気始めて立つ
- ・11月22日 小雪
寒く少し雪降る

<11月の七十二候>

- ・楓蔦黄
もみじつたきばむ
→楓や蔦の葉が色づく
- ・山茶初開
つばきはじめてひらく
→山茶花が咲き始める
- ・地始凍
ちはじめてこおる
→大地が凍り始める
- ・金盞香
きんせんかさく
→水仙の花が咲く
- ・虹蔵不見
にじかくれてみえず
→虹を見かけなくなる
- ・朔風払葉
きたかぜこのはをはらう
→北風が木の葉を払い除ける

校長 船木 亮作

早いもので二学期の折り返しの季節となり、学習に集中するにはとてもよい季節となりました。

今年度の運動会も悪天候の中での開催でしたが、九月二十九日と十月四日の二日間に分けて行いました。それにもかかわらず、子供たちは集中を切らさず全力で競技や演技に取り組みました。今回、初めて児童席にテントを設営しましたが、丁度小雨が降り始めたこともあり、一日目は雨をしのぐことができました。子供たちの演技や競技に感動するとともに、テントの設置に対して朝早くから多くの保護者の方々がお手伝いに来ていただきました。改めて港南小学校の学校力の素晴らしさを感じました。また、途中で中止となった際も保護者の方々が率先して後片付けを行っていただいたので、すぐに片付けも終了しました。本当にありがとうございました。御礼申し上げます。

さて、近年運動会を春に行う学校が増えてきました。港南小学校は、毎年「秋」に運動会を実施しています。それは、「日常の学習の総合的な成果を十分に発揮させ・・・」という運動会のねらいがあるからです。つまり、一学期から学習をつみかさねた成果を発揮することに意味があるのです。例えば、オーブニングでの鼓笛隊は、朝の練習を欠かさず行っていたため、鼓隊と笛が遠く離れていても寸分の狂いもなく演

奏が進みました。また、応援合戦でも応援団の子供たちの一糸乱れぬ動きはまさしく「つみかさね」があったからです。さらに一年生はライオンがない場所でも自分の立ち位置をしつかり覚え、全力で踊っている姿に一学期からの成長を感じました。子供たちには、運動会の練習が始まる前に運動会の本番だけよくできたというのではなく、練習を通して何ができるようになってきたか、どんな力が身に付いたのかが大切であるという話をしました。その言葉通りの成果を発揮してくれたことを大変嬉しく思います。学校では、「げんきアップタイム」や「スポーツアカデミー」、「陸上クラブ」など様々な運動の場面を設定しています。そこでのつみかさねも運動の習慣化に繋がっていくことを私たちは願っています。

大リーグでも活躍しているイチロー選手が次のようなコメントを残しています。
「結果はコントロールできないが、準備はできる。できる準備をすべて終われば、準備にふさわしい結果がやってくる」

漢字検定に向けこつこつと漢字練習に励んでいる子、オータムフェスタに向けて楽器の練習を休み時間も費やして練習している子などそれぞれが目的をもって毎日つみかさねている子供たち。そんな子供たちをこれからも全力で応援していきたいと思えます。

今月の生活目標

「落ち着いて 学校生活を送りましょう」

十一月はふれあい月間です。差別やいじめをなくす取組です。学校では、十月末に学級毎に話し合い、人權標語をつくりました。
私たちがの社会には、残念ながら〇差別なるものが未だに数多く存在します。一例に人種差別があります。アジア人の野球選手が活躍すると、目を吊り上げるジェスチャーをしたり、黒人のサッカー選手が活躍すると頭にバナナを乗せるジェスチャーをされたりすることがあります。一方、その真逆を行く事例もあります。ある中学校では、足に障がいがある児童が水泳大会に出場しました。何とか二十五m泳ごうとする彼女に学年全体で応援コールが起きたそうです。彼女を認め、受け入れ、応援する姿は差別の真逆を行く考えと言えるでしょう。
人權意識は常日頃から意識しなければ、摩擦すると言われます。意識し続けなければその感覚は擦り減っていくのです。保護者の皆様や地域の皆様も身近な事例やニュースを取り上げ、子供たちと共有し、人權意識を高めていただければと思います。

(生活指導主幹 小清水 孝)



12月の主な行事予定

- 3日(月)委員会活動
- 5日(水)基礎なし下校時刻変更【13:10下校】
- 10日(月)音楽鑑賞教室(5年)、クラブ活動
- 11日(火)保護者会(わ・2・3・5年)
- 13日(木)保護者会(1・4・6年)
- 15日(土)土曜授業日
- 25日(火)終業式、給食終、基礎・清掃なし【14:20下校】

副校長より

全米オープンテニスで大坂なおみ選手が優勝しました。以前、大坂選手は、同じ大会で最終セットを五対一でリードしていましたが、逆転負けをしてしまいました。あと二ポイントとれば勝てる試合で逆転されたのです。このときは、点数が取れない焦りから、ミスを重ね、口を真一文字に結び、目を潤ませていました。しかし、今回の決勝戦は、違っていました。前回同様二セット目の途中からミスが出始め焦りが出てきたように見受けられませんでした。ミスをしたとき画面がアップになると眉間に二本の皺をよせ、奥歯をかみしめていましたが、次の瞬間、眉の筋肉を緩め、口角を引き上げて笑顔を作ったのです。これは、弱い心との

戦いに勝った瞬間です。もちろん試合にも勝つことができました。この心の戦いに勝つことができました。影に、コーチの存在がありました。専属のサーシャ・コーチは、「君ができることを信じている、大丈夫」と常に声を掛けるそうです。褒められたことをきっかけに、弱い自分の心に打ち勝ち、前向きにプレーすることができたのです。ぜひ、ご家庭でも「さすが、すばらしい、すてき」と言う言葉を子供たちに掛けてください。

(副校長 原島 謙一
吉岡 慎一)

11月の行事予定

1日	木	食育月間始、体育朝会、児童集会 歯科検診(2年)、個人面談Ⅱ②
2日	金	個人面談Ⅱ③
3日	土	文化の日
4日	日	
5日	月	全校朝会、セーフティタイム、委員会活動
6日	火	個人面談Ⅱ④
7日	水	基礎なし・下校時刻変更【13:10下校】
8日	木	音楽朝会、歯科検診(3年・わかば)、個人面談Ⅱ⑤
9日	金	港区ものづくり商業観光フェア 基礎なし・下校時刻変更【13:10下校】
10日	土	
11日	日	学校公開(5時間授業、給食あり) 避難訓練 8:50~9:10 地域総合防災訓練 1・2校時(小雨決行) 5時間目 異学年交流(フレンドリータイム) 学校説明会 14:50~[体育館]
12日	月	振替休業日
13日	火	もぐもぐチャレンジデー、個人面談Ⅱ⑥ げんきアップタイム
14日	水	
15日	木	Autumn Festa①
16日	金	Autumn Festa②
17日	土	Autumn Festa③ 保護者参観日
18日	日	
19日	月	全校朝会、都立美術館鑑賞(6年)
20日	火	
21日	水	就学時健診【12:40下校】
22日	木	体育朝会、児童集会 午前授業下校時刻変更【13:20下校】 ★6年3組は5時間授業【14:40下校】
23日	金	勤労感謝の日
24日	土	ふれあいクリーン作戦
25日	日	
26日	月	全校朝会、クラブ活動、芸術鑑賞教室(5・6年)
27日	火	げんきアップタイム、スポーツアカデミー
28日	水	
29日	木	体育朝会、児童集会、歯科検診(6年)
30日	金	

表彰

第94回全国書道コンクール
師範会賞
6年 西尾 亜瑚

第18回ジュニア陸上競技・チャレンジカップ
ジャバリックボール投げ 第6位
6年 渡辺 ハンナ

ジャバリックボール投げ 第6位
5年 木場 心音

SUPER空手道ジュニアワールドグランプリ
形 小学校中学年 優勝
組手 小学校中学年 第3位
4年 大田 航士郎

第94回港区少年少女剣道大会
小学1,2年の部 第2位
2年 丹羽 公也

第5回MOA美術館港区児童作品展

書写の部 銅賞
4年 長山 咲樹

絵画の部 審査員特別賞
3年 佐藤 優多

絵画の部 銅賞
2年 熊谷 真優

港区交通安全ポスターコンクール 銀賞
5年 北村 健人

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	24	222	234	210	199	190	191	1270

～港区立小学校連合運動会～

入賞者



女子400Mリレー
1位 港南小 59.23

猪村 梨奈 渡辺ハンナ
小高 侑菜 新行内 多仁愛

男子走り高跳び
8位 古田 悠希

女子100M走
5位 小高 侑菜

女子走り幅跳び
6位 吉田 彩織

女子走り高跳び
6位 新行内 多仁愛

女子ソフトボール投げ
4位 渡辺 ハンナ

女子50M走ハードル
6位 山下 蒼空
6位 直塚 晴香



前日まで不安定な天気が続きましたが、連合運動会当日は、秋晴れの中全てに向けて数回の朝練習に多くの子供たちが参加し、学年の教員だけでなく学校の多くの教員から指導を受けました。当日は、自分たちの競技で全力を發揮することはもちろんのこと、水泳大会と同様に、友達の応援も一生懸命行い、他の学校を称える姿が多く、の場面で見られ、成長を感じました。今後引き続き、自分も友達も大切にできる子供たちの良さを行事や日々の学校生活で伸ばしていきます。

(六年担任 坂口 千尋)

第55回 運動会



二年生は、サッカーの応援をテーマに、七色の旗を持ってリズムダンスを踊りました。どの子もかっこよくポーズを決めたり、波を美しく表現したりすることを意識して踊ることができました。また、団体競技のリバーシでは、ルールを守って正々堂々と楽しく行うことができました。一人一人が作戦を考えながら、一生懸命カードをひっくり返す姿はとてもかわいらしかったです。

(二年担任 竹内 麻美)



港南小学校に入学して半年。はじめは、話したことのない友達がたくさんいて、緊張している様子でしたが、今ではたくさんの友達ができました。ともに六年間一緒に学習し、同じ思い出を作っていく友達たちです。運動会での経験を通して、更に強い絆を作ってほしいと願い、「レッツ☆ダンス」友達の輪と一緒に楽しそうに踊る一年生の姿に、成長を感じました。みんなで踊った思い出をいつまでも忘れないでほしいと思います。

(一年担任 久保田 智洋)

四年生の表現は「サンバ」と「ロック」をテーマに三曲をつなげて踊りました。ロックでは縦揺れを、サンバでは「ンタッタ」のリズムでステップを踏むことを意識して練習に取り組みました。本番では、周りの方々を笑顔にできるように踊れたと思います。平成最後の竹取合戦では、安全を第一に取り組みました。白熱した戦いを繰り広げました。

(四年担任 小和瀬 皓惟朗)



三年生は、初めて民舞に挑戦し、「八木節」を踊りました。学年全員でかっこよくそろえることを目標に、一生懸命練習に取り組みました。本番では、練習の成果を發揮し、笑顔で楽しく踊ることができました。団体競技「港南タイフーン」では、同じチームの友達と協力して一位を目指しました。どうすれば速く走れるかと作戦を考え、協力する姿に成長を感じました。

(三年担任 檜垣 史)



六年生の組体操「夢限大」には、「最高」学年になるう「夢は限りなく大きく」といった思いが込められています。下級生が憧れるような組体操を披露することを目標にして練習に励んできました。学年練習では、直立の姿勢や表情、指先まで意識して取り組むこと、友達を支えること、技を成功させるためにポイントを理解して取り組むことを大切にしました。本番では「下級生がすごいと言っていました」と、下級生の様子について嬉しそうに報告する児童の姿を見て「最高だな」と思いました。

(六年担任 照沼 純)

五年生は社会の学習をいかして、沖繩の民舞である「エイサー」を踊りました。ダンスリーダーを中心とした子供同士の学び合いで練習を重ね、自分たちで踊りを覚えていきました。本番ではラストのみんなの掛け声がピタリと合わり、大きな達成感を味わいました。五、六年合同の騎馬戦では、しっかりと自分の役割を果たしたり、お互いに支え合ったりすることの大切さに気付くことができました。

(五年担任 大久保 勝国)



クラブ紹介

マジッククラブ

マジッククラブは、わかば含む四六年生の合計十四人で楽しく活動しています。

今までの活動では、トランプを使ったマジックや紙コップを使ったマジック、数字当てマジックなどを練習してきました。見ている相手にタネが分からないように手元の動きを練習し、

堂々と発表できるようにしています。活動の最後には互いの出来栄を見合い、アドバイスしたり、タネを公開したりと明るく活動しています。



クラブ発表に向けて、さらに用具やマジックのバリエーションを増やしていけるように、今後も活動していきます。

(マジッククラブ担当)

渡邊 希恵子

音楽クラブ

音楽クラブは四年生から六年生までの二十五名で活動しています。日々の練習は、早朝練習を中心に行っています。短い時間の練習ですが、一人一人が今日の練習のめあてをもって練習している姿が多く見られます。

一年間を通して鼓笛隊と共に演奏する機会が数多くあり、二学期は運動会や地域の行事、オータムフェスタなどで演奏を発表します。

四、五、六年生が関わり合い教え合い、音楽を心から楽しんで演奏している姿を見ていただけるよう、練習を続けていきます。

(音楽クラブ担当)

柿島 沙織



写真クラブ

写真クラブでは、毎月子供たちが決めたテーマに沿って写真を撮っています。教室やグラウンドなど、様々な場所にカメラを持って写真を撮りに行き、自分の今月の一枚を選びます。

「夏」というテーマのときには、グラウンドの桜の葉の緑や、輝くような空の青色、水道の蛇口から勢いよく流れる水など、子供たちがそれぞれ捉えた夏を写真に収めることができました。

子供たちの作品は、四階第一音楽室横の掲示板に貼ってあります。ご来校された際にぜひご覧ください。

(写真クラブ担当)

土井 沙也香



書道クラブ

書道クラブでは、年度当初の話し合いで、書写や水墨画、みんなで大きな作品を作ることを決めました。授業では、書写を中心に行っていますが、クラブでは、字形を整えて書くこと、書道を楽しむことを目的としています。

一人で黙々と水墨画や書写を行い、墨の濃淡で表すことを楽しんで、好きな字を書いたりしました。先月は、部員全員で大きな紙に一つの作品を作ろうと計画を立て、取り組み始めました。六年生の部長を中心に、自分たちで役割を決めたり、作品のイメージを話し合ったり、和気あいあいと活動をしていました。

(書道クラブ担当)

並木 恵美子



わかば 合同運動会

十月五日(金)に港区立小中特別支援学級合同運動会が開催されました。

青山小学校、赤羽小学校、港南小学校、本村小学校、青山中学校、港南中学校、六本木中学校の特別支援学級の児童・生徒が一堂に会し、交流を深めながら競技に取り組みました。

わかば学級の児童は、カーブで広がり過ぎないように気を付けて走ることや、狙いを定めて正確に玉を投げることなどを目標に、競技に取り組みました。力いっぱい腕を振って走る姿や、時間いっぱいまで一心不乱に玉を拾っては繰り返し投げなど、運動会が続いた中で全力を尽くす姿が大変立派でした。

今年度から、小中合同競技がリニューアルされ、新競技『段☆DAN パズル』が始まりました。絵柄の描かれたダンボールをゴール位置まで運び、描かれた絵柄を組み合わせて一つの絵を完成させる競技です。小中学校の垣根を越えて、友達や先輩たちと協力して、ダンボールを運ぶ姿がたくさん見られ、特に、「せーの」と声を掛け合って運ぶ姿に、本行事のねらいの一つでもある『互いの親睦と交流を深める』が体現されていたように感じました。

閉会式後、校長先生から一人一人手渡しで参加賞をいただき、喜びと達成感に満ちた表情をして終えることができました。

保護者の方々、PTAの役員の方々、そして地域でお世話になっている方々の声援が、子供たちの力になりました。感謝申し上げます。

(わかば学級担任)

中丸 喬介

